

週替わりで一息！

第2027回例会（第38版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

清明（せいめい） 万物が清らかで生き生きとした様子を表した「清浄明潔」という言葉を訳した季語です。花が咲き蝶が舞い、空は青く澄み渡り、さわやかな風が吹く頃です。『こよみ便覧』には三月節に「万物発して清浄明潔なれば、此芽は何の草としれるなり」と記されている。意識すると「草木が芽吹き、草木の種類が明らかになる清しい頃」

次候「四月十日～四月十四日」**鴻雁北（こうがんきたす（かえる）） 1 4**

「雁が北へ渡っていく」ツバメとは反対に、冬の間を日本で過ごした冬鳥と呼ばれる渡り鳥、雁などが子育てをするためにシベリアやアラスカなどの北方へと帰っていく頃。雁は「かり」とも読み、「鴈」と書くこともあります。「カリカリ」という鳴き声が名前の由来とも言われています。四月十三日頃、十三歳になる子が虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）から知恵を授かるのに参拝する十三参が行われます。

今回は福井の桜です。

七十二候で楽しむ日本の暮らし・和暦コラムより



「足羽山しだれ桜！」



「愛宕坂（あたごさか）」



「桜通り（県道115号線）」

「本日4月1日の金曜日」「クラブフォーラム〈国際奉仕委員会〉～キッチンRCとの短期交換学生事業～」



■短期交換学生事業の現状を委員長から説明があり、実際に交換学生経験をお持ちの会員の方の談話がありました。



☆おめでとうニコニコお誕生日☆



青少年
親睦

○委員会報告○
広報



2016-17年度 地区新世代
育成基金特別委員会委員

